

## 結露について

冬期間や気密性が高い構造の建物は、屋内と屋外の寒暖差が大きくなり結露が発生しやすくなります。結露の発生を抑制するため、以下の対策をお願いいたします。

- 各部屋が同程度の室温になるよう、各部屋間のふすま・ドア等を開放し、空気を循環させてください。
- 家具と壁が密接していると、結露により家具や壁にカビが発生する場合があります。ある程度の隙間を作り、空気の通り道を確保してください。
- 室内の換気口は常時開放し、適時窓を開けて空気の入れ替えを行ってください。
- 湿度の上昇を抑えるため、炊事の際や洗濯物を部屋干しする際は、窓を開放し換気扇を使用してください。
- 浴室使用の際は必ず扉を閉め、使用後は扉を閉めて換気扇を作動させ、浴槽のお湯は抜いてください。
- 加湿器、および煙突のない暖房器具(電気暖房を除く)は結露発生の原因となりますので使用しないでください。
- 窓面の水滴は放置するとカビが発生する原因となりますので、こまめに拭きとってください。
- 布団を床に直接敷くと、布団と床との温度差により結露が発生します。間にすのこや防湿マットを置いてください。

上記の対策後も結露がおさまらない場合、当社までご連絡ください。  
環境に応じた結露対策をご案内いたします。

※結露によって家具・家財等に損害が発生した場合の責任は負いかねます。

※結露の対策を怠った結果、カビ等の被害が拡大した場合は契約年数に関係なく修繕費等を入居者さまにご請求させて頂く場合があります。